

わがやの
にんぎもの

このコーナーでは、市内在住の1歳～3歳までのお子さんの写真に、お父さん・お母さんのコメントをつけて紹介しています。誕生日など、思い出の1ページとしていかがですか？ご希望の方は、【市長公室・広報広聴係 ☎内線1212】までご連絡ください。



安田 晴喜 ちゃん

裕・恵子さんの長男 鯨

電車が大好きで、元気いっぱい常に走り回っているやんちゃな晴喜。最近では、僕に任せろなんて洗濯物干しを手伝ってくれたり、大好きなお菓子を半分こしてくれたりいろいろな一面を見せてくれます。

これから家族みんな晴喜の成長を楽しみにしてるよ。



柴田 真歩 ちゃん

秀一・瑞希さんの二女 前河原

我が家のアイドル真歩ちゃん。大好きなダンスやお歌でいつもみんなを和ませてくれます♪いいじゃあばお家にもまた遊びに行こうね！今年はまだ行ったことがない海に行こうかな？これからもずっとお姉ちゃんお兄ちゃんお友達と仲良く遊ぼうね！みんな真歩が大好きだよ～！



鈴木 陽翔 ちゃん

利行・理美さんの長男 下栗

穏やかで、のんびり屋のはるちゃん。大のお気に入りの遊びは、何とってもしゃぼん玉。はにかみ屋だけれども、泣いているお姉ちゃんに、サッとハンカチを差し出して涙をふいてあげる、紳士的な一面も。はるちゃん、どうかその優しさをずっと大切に、すくすくと育って行ってね。



口頭詩
子どもの純粋な
心のつぶやき



萩原 未久

4歳 (ふたば文化幼稚園)

みくね
おおきくなったら
パパとけっこん
するんだよ
だって
パパ
だいすきなんだもん

【解説】
未久の大好きなパパとおもちゃで遊んでいたから、急に未久の口からこの言葉が出てきました。パパに抱きつきながらニコニコして話す未久でした。
採集 母 萩原 淳子

下妻小友幼稚園

みんな大好きだよ

「風船に乗って、いろいろなところへ行ってみたい」ということで、好きな色の風船に自分の顔を描きました。



平成25年度卒園生の皆さん

幼稚園を巣立っていく子どもたち、いろいろなところへ羽ばたいて行って、それぞれの夢がかなうことを願っています。



From SHIMOTSUMA
みんなの
ギャラリー

わたしから
あなたへ

さわやか
リレー
vol.99

前回登場の中尾仁さんからの紹介



土屋 文明 さん(本宿町)

そうだ 京都 行こう

美しい風景とともに流れるJR東海のCM
人を誘う簡潔なフレーズ
まるでそれに誘われるか
のように、ここ数年いろいろ
な関係で関西方面に足を
向ける機会が重なりまし
た。
京都から始まり、城崎、
大阪そして岡山へと。
時間をかけて出向いた
先々で、名所旧跡を回るの
はほんの少し。
われわれの仲間はずい
う所より、それぞれの土地
の「あそこ豆腐」や「こ

このそば、「これは地物の
魚やで」といろいろな所に
連れて行っていただきま
す。そして最後に欠かせな
いものがその土地のお酒。
友人と語らいながらお酒
と料理をいただいていると
空白の時間はあつという間
に埋まります。しばしの滞
在で時を過ごし、帰路に向
かう。
車窓を眺めながら、こう
いう時間をいただけること
に感謝しつつ自宅に着いて
思うのであります。
そうだ また 行こう。

俳句

市民
文芸

鳥帰るひたすら辿る空の道 市村きよし(下栗)
初陣のごとペダル踏む入学子 飯村 真琴(黒駒)
鳥雲に廃校の名は蚕飼小 塚田三樹子(下妻丁)

短歌

朝陽さし耐えかねるがに屋根の雪
大きな音たて軒端に落つる 小竹八重子(五箇)
とけてゆく雪のしずくの光る枝
梅の花芽のふくらみて見ゆ 小林美智雄(唐崎)
受験子の重ねし絵馬へ陽を分けて
天満宮の梅は綻ぶ 坂井 勝美(五箇)
極寒にたえた老梅花ひらく
愛らしきピンク吾をいやせる 外山富久子(下妻丁)
ちらちらと茶室の障子に笹の葉の
綾に写せる午後の冬の陽 増田 啓子(下妻乙)
方丈の功德を積みて過ぎ給ふ
林翁寺のほとり鎮まりてをり 山本せい子(下妻丙)
音もなく降りゆく雪の日の
さびしき庭に来る春を思ふ 横倉 愛子(小島)
庭に来て高鳴くひばり野に出でて
景色を見よといざなうごとし 中久喜 和(下妻乙)
楽しげに小鳥鳴く声聞こえくる
布団の中より出られずにある 吉原 眞子(高道祖)

有料広告欄

有料広告欄